

樺本ユウタウン・スカイタウン説明会会議録

平成27年5月15日（金）午後6時30分～7時30分 場所：ユウタウン樺本集会所

市側出席者：並河市長（途中退席）、川口特命参与、上田所長、井上課長、山下係長

天理市資料説明

樺本町：「町から町へ」とか広報誌には、いつ頃載るんですか。

天理市：いつ頃に載せるかは、今の時点では決まっています。

樺本町：資料4で環境評価、これはこれくらい慎重にされるという事ですか。

天理市：県の条例に基づいて、これが建つ事によって、この期間を持つ事により、どんな影響を及ぼすのかという調査を4年かけてしなさいという事なので、その辺をしっかりと検証した上でOKが出ないと、建設が出来ないという事になっておりますので、この4年間というのが必要です。

樺本町：その調査は、どの辺で調べるといふのがありますか。

天理市：建設を予定している場所に、こういうのが建ったら他の所にどういふ影響を与えるのかという事なので、基本的にそこを選定してやるという事です。

樺本町：それは、空気の関係とか、試験的な情報を取るとかあるんですか。

天理市：例えば、クリーンセンターの煙突がありますね。風が吹いて、その流れによって浮遊物というのがありますので、建てる時に場所と焼却炉の大きさを想定してどの辺まで調査しなければいけないかという所から環境影響評価というのが始まります。

樺本町：周辺、何キロ以内とかいふのがありますか。

天理市：何キロ以内というのは無いです。影響がどこまで及ぼすか、環境影響評価のやり方を市民の方にご提示し、意見を言うて頂く所から始めて、その意見が、岩屋から風がこっち向いてもっと吹いて来るんじゃないかという意見があれば、年間の風向き、風量を測って、どこまでするか検討します。水質については、川ですので何カ所か決まってくるので、大気については、専門業者に一旦にシミュレーションして頂いて、測量地点を検討します。今の時点では、天理市は広域化を考えていますけど、その市町村の規模によっても影響するという所もある。施設の大きさも、まだ確定出来てないので、今最大でどの位という部分では想定していますけども。他の市町村、どのくらい参加されるのか確定出来てないので、その辺の事が出来た時点で、どれだけの規模の施設が必要かというのを決めて、風の方向も含めてどの位影響を及ぼすのかというのを、専門業者に委託し調査する予定をしている。今の所、どこまでと申し上げられない。

櫛本町：建設するとした場合、規模とかある程度想定していますか。

天理市：規模を想定した資料が、一番始めの所で示させてもらっています。(案)の4をご覧ください。最大で360tと書いてあるが24時間で360tのごみ処理が出来るという事です。今のクリーンセンターの場合は、建設当時昭和57年でしたので、まだ月ヶ瀬、都祁村のごみも処分してまして、焼却炉自身は220t、人口規模でかなり大きい炉を使っています。実際の4の下の※印の現状の枠組というのを見て頂きたい。平成12年以降、国の政策で各種のリサイクル法がいっぱい出来たんです。・・・ペットボトル、かん、ビンも資源として集めると、以前は燃えるごみ、燃えないごみとだけやっていたので220tの今の炉になります。現状の枠組みで10年後に造るとなると160tの炉でいけるんです。今の炉自身もかなり古い設計で大きな炉ですけども、最大になった時に360t、多分もっとごみが減ると思います。工事掛かるのは、今から6年目ですので・・・。

櫛本町：このスケジュール表見たら、規模も枠組も今から調整されていって決まってくると、そういう所ですね。

天理市：そうです。場所的には、ここしか無い。候補地が天理市には、もう無いんです。まだ炉の規模決まっていないですけど、地元に入らせて頂いて、ご理解頂きたいと思います。

櫛本町：枠組みがどうなろうと、こうなろうと、場所としては、ここしか無いと。

天理市：そうですね。他市町村どれくらい参加されるか分からないが、今の炉が10年位持つだろうと計画させてもらっているんで、5年持つか、1年持つか分からない状況です。少なくとも、新たに建てないとダメだという事は間違いないです。

櫛本町：郡山市の場合50億円掛かっていると。煙突、寒い時、白い煙あがっていませんけど、大丈夫ですか。

天理市：あれは、ほぼ水蒸気です。ただ排ガスは出ています。法令基準内の排ガスが出ています。排ガスの影響で、三鷹市の例で示させて頂いたんですが、その影響というのが、周りの自動車の排ガスの影響の方が強いだろうという数値が出ています。

櫛本町：想定規模として、例えば、天理市が人口10万人になっても大丈夫なのか、想定規模決められるんですか。

天理市：人口規模よりも、ごみの量です。関西はごみの灰の最終処分地は大阪湾にあるので、ごみの減量進んでいない地域です。関東で言いましたら、天理市で資源物を除いて燃やせるごみ、燃やせないごみは、一人1日で600g出ます。関東では400gです。関東は最終処分地がないので、市民のごみの減量意識が全然違います。同じ人口規模でも関東は、小さい炉でいけるという事です。

櫛本町：例えば案4、最大規模でトータル人口は何人ですか。

天理市：22万人です。

橿本町：最小で何人。

天理市：今で、9万人から12万人ですね。

橿本町：B町、C町とあるのは、現状、天理、川西、三宅、山添にプラスα、現状の枠組みを引き継いでという事ですか。

天理市：はい。

橿本町：ここに書かれてある最大の所には、声をかけているという事なんですね。

天理市：県も広域化というのを推進している。県の方も協力して、声をかけていただいている状況なので、これから各市町村どうですかという話をしていく準備をしています。

橿本町：最大やったら6市町村ありますが、全部クリーンセンターを自前で持っていますか。

天理市：ほとんど持っておられますが、寿命等があってなかなか苦勞している所で、多分声をかければ参加してこられるであろうという想定です。

橿本町：資料5の、1時間当たりの台数これは。

天理市：参加される市町村で、一端中継施設を造って頂いて、名阪国道を利用して来ますので、直に1とか2とかではなくて、天理インターから運んで頂く、ただ、天理インターから運んで来るにしても、専用車両でも台数が来ますので、今の2から3倍の数になると考えております。他市町村につきましては、小型では台数が多くなるので、大型で来て下さいと条件として付けますので、それを了承していただければ参加してもらわなくても結構ですというスタンスで考えています。

橿本町：ずうっとお聞きしている話では、デメリットより、かなり大きなメリットだなーという感じで、最善の方法でよろしく願います。

天理市：天理市としては得策ですが、地元としては何でここやねんというのが結構ありますが、条件的に広域化するのには名阪使わないと、市内を車がバンバン走るという事になりますし、条件的に名阪沿いという事と、土地の確保という事で、今回は天理教がしてもいいよという事で、今しかないのかなと思っています。

橿本町：昔は、迷惑施設というイメージもありましたが、こういう写真見てもかなり斬新な、近代的な

建設という事ですね。

天理市：今後写真だけで無く、実際に見て頂くのも一番ご安心頂けるかと考えております。

橿本町：場所的には、ニュータウン橿本自治会は、少し離れていますが、近くの地権者の方からしたら、多少感覚的に辛いというのがありますけども。

天理市：必要な施設というのは、皆さんご理解頂けますが、迷惑施設という部分がありますので、諸手を挙げて賛成という訳には、なかなかいかないと思います。我々としても丁寧に説明をしていきたいと思っています。

橿本町：私達が近くに住んでいるとしても、必要な事は間違いないですから、特に近い楢は、近いから反対ではなく、やはり将来に必要な施設ですんで、私達も出来る範囲協力していきたいと思えます。

天理市：ありがとうございます。

橿本町：交付金と書いてあるが、これはどういうものか。

天理市：総事業費があるんですが、発電を付ける、付けないのかで補助率が変わってきます。発電も付けて、尚かつ高効率発電、隣の丸付けているこれが出来ないとならば2分の1の補助がいただけない3分の1になる三角では厳しいという状況で、三宅、山添、川西の炉であれば2分の1もらえないと。その辺も進めていく中で、事業費補助が2分の1、3分の1となると、何十億もかかる中では、市民の負担も非常に大きいという事です。

橿本町：ごみ処理は小さなものですね。大きなマイナスを見ると。

天理市：逆に言いますと、小さい所ですと、国の基準を書かせて頂いたが、法令基準というのが、今のクリーンセンター1.8t以上の炉の基準ですが、大きな炉になればなるほど、基準は厳しくなります。市としても4年間の環境アセスをさせて頂く予定をしていますので、この中で最適な施設を造って行きたい。天理の建設負担が載っていますが、これが大きくなれば、負担も大きくなるので、市としては、一番大きな規模で計画していきたいと思っています。

橿本町：何でもそうですけど、大は小を兼ねると。余裕があつて将来・・・。

天理市：なかなか余裕を持った施設は造れないですけど、枠組みを持った中で、必要なものしか補助金も出ませんし、国の方は、ごみを減らさないという中で360tで設計しますと、多分もう少し小さくしないという事になると思います。9年後しか稼働出来ないわけですから、9年後の減量した数値を当てはめなさいと言われます。これはあくまでも試算する為に、当てはめていますけど、国の補助金となれば、現状レベルでないと補助金くれませんので、これよりは小さくなり

ます。

櫛本町：9年目に稼働ですか。

天理市：はい、そうです。

櫛本町：住民として、応援もしますし、見学会もあれば参加させていただきます。ユウタウン・スカイタウンは同じ校区と言っても、離れているので、自分達の意識の薄い所もありますが、こういう話し合いは沢山されていますか。

天理市：櫛本校区の六総と、和爾、檜、中之庄、森本くらいです。

櫛本町：その時の質問は、どんな事が出ましたか。

天理市：和爾、檜は、利水が絡んでいますので、水についてかなり仰っていました。水について、今の計画で害になる施設になりませんので、説明させて頂いていますけども、そうですかという訳にはいきませんので、これから丁寧に何回も説明にお伺いしたいと思っています。

櫛本町：この資料だけ見せて頂くと、反対する事は何処にも無いですよ。

天理市：実際にそういう事です。ただ、迷惑施設だという思いだけで、色々思われている部分があるんですけど。

櫛本町：私達が住んでいる場所と、近くに住んでいる人の意識の違いはあるし、ごみの現状、運ぶ車の量、必ず多くなるという所がありますので、やはりそこを懸念されている方も多いと思います。また、自分が住んでいる所からそこに対して、良いか、悪いかとか、言いにくいという所があるなど思っていたんですけども。他で出た意見も降ろして頂いて、ここはこんな意見もあった、そういうのを共通理解して進めていった方が良いかなと感じました。

天理市：そうですね。各校区等説明させて頂いて、色々意見が出て、回答も求められる部分もありますので、その辺も含めて整理した上で提示させてもらいたいと思います。

以上

